

す。カントリーエレベーターを活用して、米や大豆はもちろん、特産である『ねぎ』『山うど』『みょうが』などの畑作振興と複合経営の推進にも結びつけていきたい。」と式辞を述べました。

その後、カントリーエレベーター建設工事に携わった株式会社サタケ、全国農業協同組合連合会、中田建設株式会社、五友プラント工業株式会社の代表者4名に対し、感謝状が贈呈されました。

佐竹知事は「震災以降、農業の重要性が一層高まっている。そうした中でJAあきた白神カントリーエレベーターの稼働は、秋田県の農業振興に必要不可欠。特に主力作物のねぎを含めた、野菜作



△あきた白神の更なる農業振興を期待する佐竹知事

物の更なる販売促進に期待している。」と祝辞を述べました。今年度はTPP交渉問題など、地域農業存続における正念場の年であり、その意味でもカントリーエレベーターを活用した、あきた白神の販売力強化による農業の活性化を望む声が、出席者から多く聞かれました。

見学会

また4月13日から24日までの10日間、主に組合員に向け、カントリーエレベーター見学会を開催致しました。4支店管内から約150名が参加し、完成したカントリーエレベーター内部の設備紹介や、利用における注意点の説明、また疑問や質問などに応えさせて頂きました。

ここで参加された方々から頂いた質問で、特に多かったものを掲載いたします。

Q. フレコンバックは貸出しているのでしょうか？

A. 事前の申し込みにより、無料で貸し出し致します。

Q. フレコンバック以外のコンテンツでも、中継基地で利用できますか？

A. コンバイン袋タイプに対応するため、ワイドホッパーでフレコンバックへ積み替えます。ワイド



△内部設備の説明をうける参加者の方々

ホッパーのある中継基地で利用できます。

Q. 水分によって料金は違いますか？また、半乾燥と生籾の区別はどのようにしていますか？

A. 水分による料金の違いはありませんが、500俵以上と500俵未満で料金を変えております。また半乾燥もみについては、17%以下を半乾燥もみとし、利用料金を生もみの半額としています。

Q. カントリーエレベーターの粉塵・騒音等、周辺住民への環境対策はどのようなのでしょうか？

A. 粉塵は県内初の乾式集塵を採用し、96〜98%の集塵効率になっております。騒音に関しても、乾燥機をサイロの中に納め、防音に配慮した設計となっております。

Q. 中継基地をもっと多くしてもらうことは可能でしょうか？

A. 利用する方の利便性を考え、各地区に中継基地を設けております。また今後、富根野菜集出荷所敷地や米田倉庫敷地など計5ヶ所へ、新たに中継基地を増設することを検討しております。

カントリーエレベーターは、高齢化する管内組合員の労力軽減と経費削減を図るとともに、均質米の出荷による有利販売を可能にして、組合員の所得向上にもつながると考えております。そのためにも、ご利用して頂く組合員への情報開示が重要だと思っております。今後も広報誌やチラシなどを通して、施設概要の周知徹底を行ってまいります。また、疑問や質問なども受け付けておりますので、その際には営農企画課（55・0777）までご連絡ください。

皆様の豊作を願うとともに、ご利用をお待ちしております。